

平成30年 第1回
京田辺市議会定例会

一般質問(質問項目・要旨)

傍聴用

京田辺市議会

3月定例会一般質問日程

月 日	通告順位	議 員 名	ページ
3月2日 (金)	1	こばやし き よ し 小林喜代司 (みらい京田辺)	1
	2	か わ だ み ほ 河田美穂 (公 明 党)	2
	3	な ん ぶ と し こ 南部登志子 (無 会 派)	3
3月5日 (月)	4	に し は た と し ひ こ 西畑利彦 (日本共産党京田辺市議会議員団)	5
	5	お か も と り ょ う い ち 岡本亮一 (日本共産党京田辺市議会議員団)	7
	6	き た か ず ひ こ 喜多和彦 (一 新 会)	9
3月6日 (火)	7	あ お き こ う じ ろ う 青木綱次郎 (日本共産党京田辺市議会議員団)	10
	8	ま す と み り つ こ 増富理津子 (日本共産党京田辺市議会議員団)	12
	9	す ず き や す お 鈴木康夫 (一 新 会)	13

※質問時間は、質問答弁併せて60分以内としています。

1 山手幹線開通後の通学路の安全対策について

3月17日に山手幹線が八幡市から精華町まで全面開通される予定である。

府道八幡木津線の薪一休寺道からJR同志社前駅間の大型車両の交通規制（等）の通学路の安全対策は実施されるのか。計画、見通しは。

2 農業の振興策について

TPPの関連施策の実施や今年から実施される米政策の見直し（等）に伴い、本市の農業の環境は非常に厳しい状況が予想される中で、本市特産の京都田辺茄子に続く特産品としてエビイモ、九条ネギ（等）の生産拡大や担い手の育成支援（等）に府、農協が共に進められようとしているが、市の考えは。

3 農福連携の推進について

旧府農業総合研究所跡地を活用した公園整備の中で、子どもから高齢者、障がいのある人が集い、交流や農作業（等）の体験が出来る拠点の整備を進められているが、現在の状況と今後の見通しは。

4 内水排除対策について

平成25年台風18号による大雨により、市内各地域で冠水による被害が発生して内水排除の樋門の改修が必要とされた。冠水対策の1つとして大型排水ポンプ車も本市に配備されたが、樋門の改修や整備は進んでいない中で昨年も飯岡上流の久保田樋門の排水地域で冠水が発生した。樋門の改修見通しは。

1 国民健康保険の保険者努力支援制度について

- (1) 平成28年度の国からの交付額はいくらなのか。
- (2) 取り組むべき指標として示されている特定健診の受診率、特定保健指導の実施率向上に向けて、本市の取り組みは。(年代別など)
- (3) 糖尿病重症化予防対策はどのようにするのか。

2 防災・減災について

- (1) 災害対応自動販売機の拡充と設置場所の市民への周知徹底をすべき。
- (2) 防災士の拡充と資格者への研修、資格を生かす所をつくるべき。

3 自転車の安全対策について

- (1) 自転車通行帯には市内統一の自転車マークをつけるべき。
- (2) 高齢者の自転車安全教室の充実をすべき。

4 困難な状況の子ども・若者への取り組みについて

- (1) ニート等の若者への支援をすべき。
- (2) 不登校の子ども・若者への支援はどうしていくのか。
- (3) 高校中途退学者及び進路未決定卒業者への支援も考えるべき。

1 防災・減災の課題について

- (1) 消防団組織の見直しが必要と考えるが、市の認識を問う。
- (2) 中規模マンション等で組織される、あるいは組織されようとする自主防災組織の位置づけについて問う。
- (3) 外国人居住者へ十分な情報提供ができるよう、市として取り組みを進めよ。

2 介護の課題について

- (1) 先日明らかになった次期高齢者保健福祉計画、次期障害福祉計画の素案の中では、高齢者も障がい者も地域で暮らすこと、家族だけではなく地域で暮らす住民もが彼らを支えていくことが目指されている。理念としては素晴らしいが、実現するには多くの課題があると考えます。市の見解を問う。
- (2) 地域で支えていくためには、高齢者や障がいのある方に対する地域住民の理解だけではなく、病気や障がいについての知識・対応の方法等についても学んでいく必要がある。市の認識およびその計画は。
- (3) 高齢者や障がいのある方々が地域で暮らすということは、居宅介護の需要が増えるということ。市の認識およびその計画は。

3 普賢寺地域の課題について

- (1) 公共交通（デマンドタクシーを含む）のありかたについて問う。
- (2) 今後のスクールバスは。
- (3) 地域人口を増やすための努力を求める。

4 新田辺駅東側について

市は東側をどうしたいのか、住民には市の考えが見えてこない。今回の計画についても、なぜ今さら、三度、地権者や住民の声を聞こうとされるのか、疑問の声が上がっている。市の考えを問う。

5 街灯について

かつて商工会が設置された街灯について、撤去を含めた適切な管理を行なうべきと考えるが、市の認識を問う。

1 薪地区手原川護岸並びに法面復旧について

- (1) 台風 21 号による手原川護岸並びに法面の崩壊に関し、その原因は特定されたのか。
- (2) その復旧に関し、設計・工事は京都府、京田辺市、事業者それぞれの任務と負担はどのように整理されていくのか。その工事の完了までの工程はどのように考えているのか。
- (3) 本市の開発等に関する監督・管理体制と職員配置は充分確保されていたのか、本市の認識を問う。
- (4) 地元住民の農地補償はどのように考えているのか。

2 公共バス交通について

- (1) これまでの公共バス交通のあり方を抜本的に見直し、より市民が利用しやすいバス運営とするための公共バスネットワーク再編整備委員会を設置してはと考えるが、本市の認識を問う。
- (2) バス交通を強化するには、市民に高齢化社会での自家用車のあり方を理解していただく必要があり、そのうえで自家用車削減計画も立案しなければならないと考える。
例えば、区・自治会でのカーシェアリングの導入など新たな方式も検討してはと考えるが、本市の認識を問う。
- (3) 当面、京阪バス・奈良交通路線区域での相互利用と回送車輛の有効利用を図るべきと考えるが、本市の認識を問う。

3 歩道整備について

- (1) 歩いて暮らせる安全な歩道の整備が必要と考えるが、本市の認識を問う。

- (2) 現在策定済みの歩道整備区間と今後の整備計画を問う。
- (3) コストがかかるとされている旧307号（一休ヶ丘～JR京田辺駅踏切まで）の整備費用を問う。また、天津神川蓋かけについての京都府との協議経過を問う。

4 休日・夜間の救急診療について

- (1) 市内での救急診療機関の医師等の配置など、その実態を把握されているか。また、救急対応において、一部救急患者が他市医療機関へ転送されているが、その実態は。
- (2) 本市内において、救急対応が可能な医療機関の体制強化が必要と考えるが、本市の認識を問う。

1 後期高齢者医療制度について

消費税増税や年金削減など高齢者の生活環境は厳しくなっているもとで、保険料の「軽減特例措置」が平成29年度から段階的に廃止となった。保険料の滞納や経済的な理由で必要な医療が受けられなくなれば、いのちと暮らしを脅かすことになる。このことを踏まえて下記の点を問う。

- (1) 軽減特例廃止による被保険者への影響について問う。
- (2) 軽減特例廃止についての市長の認識及び、国に対して特例軽減措置の継続を求めるよう意見表明すべき。
- (3) 短期保険証の交付について
 - ア 平成29年度の滞納被保険者数及び、短期保険証の交付者（6箇月証・3箇月証）、留め置き、差押えの件数は。
 - イ 留め置きにより保険証が被保険者の手元になければ、安心して医療機関にかかることができない。保険証が確実に届くよう対応すべき。

2 子どもの医療的ケアについて

- (1) 国において、医療的ケアの必要な子どもたちが成長の過程で切れ目のない支援を受けられるよう自治体に対し、保健・医療・障害福祉・保育・教育等の連携促進が努力義務とされた。本市では、医療的ケア児を保育所、幼稚園、小中学校に受け入れる体制が整備されているのか。またその認識を問う。
- (2) 医療的ケア児が保護者の付き添いがなくても普通学校に通えるよう、以下の点を問う。
 - ア 訪問看護は居宅限定という規則になっているが、その縛り（居宅縛り）を無くすことで「学校でのケアは訪問看護」という選択肢が増えると考えがどうか。
 - イ 学校看護師の配置（巡回制度）を求める。

3 交通安全対策について

三山木保育所に通所する方や、近隣住民が安全に横断できるよう保育所北側交差点（府道生駒井手線と市道高木東線の交差点）に信号機の設置を求める。

1 少子・高齢化、人口減少対策

少子・高齢化とそれに続く人口減少は、私たちの生活にさまざまな影響を及ぼすと言われている。

次の項目について、京田辺市の現状と課題、対策などについて問う。

- (1) 高齢者人口の増加について、現状と今後の推移、課題とその対策
- (2) 一人暮らし世帯増加について、現状と今後の推移、課題とその対策
- (3) 空き家の増加について、現状と今後の推移、課題とその対策
- (4) 三世帯同居を促す施策の展開

2 こども達に諸外国の文化に触れる機会の提供

学童期に、諸外国の文化に触れ国際社会の多様性を知ることが、こどもが将来を考える上でプラスになると考える。長野県で展開されている一校一國運動はこども達が国際感覚を身につける良い機会となっている。

本市の取り組みなどについて問う。

3 手原川上流の土砂崩落の復旧状況

昨年秋の台風の影響により、手原川上流（薪斧窪）で山肌が崩壊し、住民に不安を与えている。復旧の目途を問う。

1 市民に開かれた市政の促進について

市政への市民参画、市民に開かれた市政の促進は地方自治にとって重要な課題である。

- (1) この点で、市政にかかわる様々な情報を積極的にわかりやすく伝える情報公開の取り組みと、幅広く多様な市民の声を広く聞き反映させる取り組みの二つが重要であると考え、市の基本的な方針を明らかにされたい。
- (2) パブリックコメントの現状と課題について、市の認識を明らかにされたい。またパブリックコメント以外にも、「市政懇談会」の開催など、市民の声を積極的に聞く取り組みをすべきと考えるが市の見解を明らかにされたい。
- (3) 様々な審議会において、市民公募委員の積極的な導入を図るとともに、それらの審議会での資料や議事録などの情報公開をより徹底させるべきと考えるが、市の見解を明らかにされたい。

2 中学校給食について

今日、本市でも中学校給食を実施すべきという声は大きく広がっている。

- (1) 中学校昼食等検討委員会は3月に提言を出す予定との事だが、その提言を踏まえた市の対応、方針について問う。
- (2) 中学校給食の実施にあたっては、安全で温かくておいしい、豊かな給食を提供すべきであり、そのために小学校と同様の方式を基本とし、栄養士を配置して、市直営の自校調理方式が望ましいと考えるが、市の見解を明らかにされたい。

3 北陸新幹線京都南伸計画、新駅設置は中止を

- (1) 北陸新幹線京都南伸計画、松井山手周辺への新駅設置について、本市に関わる具体的な財政的な影響、新駅建設の地元負担及び新駅周辺整備事業の負担額と、新幹線整備によってもたらされる本市の税収増の見込み額の予測について明らかにされたい。
- (2) 北陸新幹線京都南伸計画、新駅設置は中止すべきと考えるが市の見解を問う。

4 市財政の見通しについて

本市では今後も、地域の公共施設の整備や学校などの整備など、各種の事業が必要と見込まれている。それらの具体的な事業に対応するため、それぞれの事業ごとの経費、財源見通しなどを踏まえた中長期の財政見通しを計画などの形で明らかにすべきと考えるが、市の見解を明らかにされたい。

1 生活保護問題について

- (1) 今年は、5年に1度の生活扶助基準の見直しの年となっている。最大5%という生活扶助基準引き下げの方針を決めたことに対して、市長の見解を問う。また、京田辺市での引き下げ率や影響を受ける世帯数と率、人数などの推計について問う。
- (2) 生活扶助基準の引き下げは、住民税、保育料、介護保険料、就学援助などに連動し、広範な国民の生活に重大な影響を与えるといわれている。市としてどのような影響があるのか、また軽減策についての考えを問う。

2 子どもの貧困、虐待、いじめ等の対策について

- (1) 就学援助制度の充実について問う。
- (2) スクールソーシャルワーカーの全校配置に向けた取り組みについて問う。
- (3) 家庭児童相談室の体制強化についての市の考えを問う。

3 道路整備と安全対策について

- (1) 田辺高校前の交差点の改良で安全対策を。
- (2) 馬坂川沿いの府営田辺団地西側道路と12棟北側道路の交差点の安全対策を。

1 より安全、快適な自転車交通の実現に向けて

- (1) 平成30年4月から自転車保険加入が義務化となるが、自転車通学・通勤者をはじめとする市の対応や市民への広報を問う。
- (2) 山手幹線の大住ヶ丘地区、同志社大学へ至る専用自転車道が整備されたが、今後の自転車道整備計画を問う。
- (3) ツアー・オブ・ジャパンが2回実施されたが、費用対効果を含めた課題と方向性を問う。
- (4) 山手南、西地区の開発などにより、大住中学校への自転車通学ニーズが予想されるが市のスタンスを問う。
- (5) 田辺公園プールへの階段昇降を避けるために玄関前に駐輪場設置を望む声が、高齢者の方にあるが、市の見解を問う。

2 社会変化に即した緊急時対応に向けて

- (1) 北朝鮮の弾道ミサイル危機に対し、東京の小学校をはじめ全国の自治体で避難訓練が実施されているが、本件に対する市のスタンスを問う。
- (2) ペットを飼われる市民の方も多く、避難所生活における所有者への対応姿勢、専門機関との連携（動物病院など）状況を問う。
- (3) 安心安全なまちづくりを目指す公的認証であるWHOセーフコミュニティ認証取得を望む声があるが、市の見解を問う。

3 北部地区大型施設開業の影響をプラスに

本年北部地区では、①プロロジス②ビジネスホテル&温泉施設③松井山手駅前モール計画④住宅展示場跡のドラッグストア⑤枚方市長尾谷町の大規模物流施設など大規模施設の開業が予定されている。税込アップ、雇用の確保などプラス面もあるが、市民にとって交通渋滞、治安の悪化など不安の声もある。市としての評価、対応策を問う。

4 松井ヶ丘幼稚園から宝生苑に至る道路（山手東上西野線）計画の進捗と供用開始時期を問う